

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託された案件の主な審議内容です。

委員長 森元秀一

議案第54号「令和3年度阿蘇市一般会計補正予算(第6号)について」

委員 中通古墳群調査委託料34万4千円の詳細説明を。

教育課社会教育係長 中通古墳群には、10基の古墳がありますが、令和元年度に開催しました「中通古墳群



中通古墳群 (長目塚古墳)

長目塚(ナガメヅカ)古墳調査70周年シンポジウム」の中で、学術的にも非常に価値のある史跡であると提言されたことから、昨年度は長目塚古墳、本年度は上鞍掛塚(カミクラカケツカ)A古墳を調査対象とするものです。現状を三次元レーザーで測量し、その位置、大きさ、寸法等を調査します。

委員 農村公園あびか屋外照明改修工事費約8千7百万円については、Aコートのみということだが、Cコートの改修は。

教育課社会体育係長 今回受ける補助金については、単年度に対して限度額があり、2面同時に行っても補助金額は変わらないことから、年度を分けて実施する予定です。但し、本年度補助金を活用した場合、その後3年間は補助金を受けられないため、Cコートの改修については、令和7年度以降になります。

議案第57号「令和3年度阿蘇市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について」

委員 1施設に対する介護基盤緊急整備特別対策事業補助金335万5千円の詳しい内容を。

介護保険係長 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、室内の壁を取り払い、隔離対象者の病室とそれ以外の部分に区域分けする改修工事に対する補助です。

議案第62号「令和3年度阿蘇市病院事業会計補正予算(第1号)について」

委員 今回のCT撮影装置は新型コロナウイルス感染症対策で補助を受けるが、本来の医療機器の入れ替えについては、どのような考え方で行うのか。

医療センター事務部長 CTやMRI等高度医療機器は、最新の医療を行う上で必要不可欠であることから計画を立て更新を行うこととしていますが、高額であるため、保守メンテナンスをかけて長寿命化を図っています。今後、内部留保を蓄えて、

計画的に更新をしていきます。

委員 補助金で購入する医療機器は、すべて更新なのか、新規導入はあるのか。

医療センター事務部長 超音波画像診断装置と気管支鏡は新規で、CT撮影装置と整体情報モニターは更新となります。



超音波画像診断装置 (イメージ)

認定第1号令和2年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について」

委員 公共施設予約システム事業により、現在自動解除、施錠できる施設はどこか。

教育課社会体育係長 自動解除ができる施設は、指定管理が入っていない施設全となりませぬ。管理者のいる阿蘇体育館や農村公園あびか、一の宮体育館については、直接鍵の受け渡しを行っていますが、それ以外の学校施設と閉校した旧小学校の体育館等については、電子鍵が変わっています。

委員 来年の成人式については、開催若しくは中止の決定を早めにするべきではないか。

教育課社会体育係長 令和3年度から、行政主導ではなく実行委員会という形式を取って進めていく計画です。現在各中学校区から3名ずつ選出を行いましたので、近いうちに実行委員会を立ち上げ、新型コロナウイルス感染症対策も含め、式典に対する在り方等について十分検討していきます。

委員 マイナンバーカードによるコンビニ交付件数は、市全体の申請件数の何%ぐらいなのか。

市民課長 令和2年度のコネビニ交付件数は2,703件で、前年度に比べ増加していますが、まだ窓口件

数に比べると10%に達していません。今後も利用促進に努めてまいります。

委員 今年の敬老会は、記念品や弁当を配るケースが多いということだが、助成に当たっての考え方は。

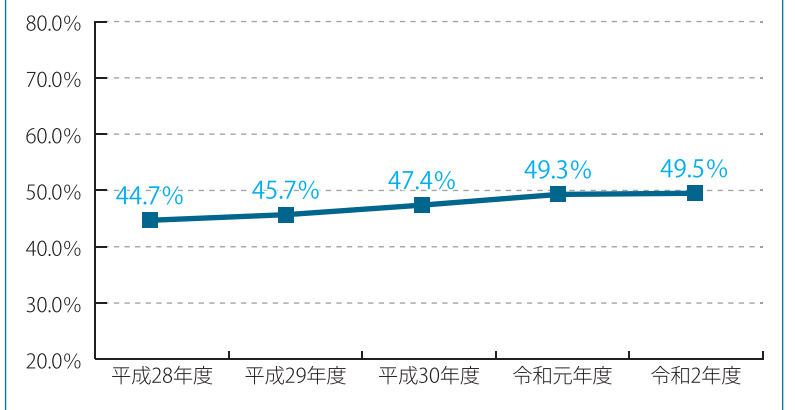
福祉課総合福祉係長 物品を配布するときのガイドラインとして、お弁当や記念品は認めています。金券や現金に代わるものは控えていただくと、各区长や施設長にはお伝えしています。

認定第4号「令和2年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

委員 特定健診受診率は県平均を上回っているが、阿蘇市独自の高い目標を立て、特に若い方々の病気の早期発見、早期治療につながるような更なる努力をしていただきたいが。

ほけん課長 若い方々に対しての勧奨通知は、封筒に入れて通知をすることから、はがきで勧奨通知を行うなど、より内容が伝わる形で取り組んでいます。今後引き続き周知徹底に努めていきます。

特定健診受診率の推移



認定第12号「令和2年度阿蘇市病院事業会計決算の認定について」

委員 令和2年度は、9億6千万円の新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保事業費補助金があつて黒字になったが、本年度も入院患者数や外来患者数は変わらない。補助金の有無に捉われず、的確に今後の予算立てをする必要があるのでは。

医療センター事務部長 県の9月補正予算で入院病床確保のため、12

9億5千4百万円が予算計上されていることから、補助金の確保は見込まれますが、早い段階で病院関係者が経営のことも考えながら、新型コロナウイルス感染症の終息後の対応について内部で検討を始めています。

委員 補助金がなくなった場合の対策として、十分な体制を整え、患者さんに来ていただけるような方策やアピールは考えているのか。

医療センター事務部長 経営改善の大きな課題は、医師確保であり、県へ引き続き強く要望してまいります。また、開院以来、急性期病院として専門的に脳疾患、心疾患の治療を行い、地域の医療機関からの紹介率も上がってきました。今後、病院の信頼も含めて、更に患者満足度の向上に職員一丸となって取り組んでまいります。

以上が、文教厚生常任委員会に付託されました案件についての報告です。